

第15回 ちゅうでん教育振興助成（平成27年度）

報告書資料 復興支援－12

学校名・団体名	仙台市中学校長会教育課題部会
HPアドレス	http://www.sendai-c.ed.jp/~chu-ko/
コース	教育研究
活動・研究 テーマ	東日本大震災からの創造ある復興に向けた 新たな取組
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>東日本大震災の被災地である仙台市の中学生に対し、震災当時の様子や復興の経緯について記憶の風化を防ぐとともに、今後の復興に向けて中学生がさらに大きな力を発揮してくれることを願い、復興DVDを編集・制作する。昨年度の第1集に続き、今年度は第2集「ともに前へ～支え合い助け合い未来を創ろう、中学生の力で～」及び第3集「ともに前へ～夢と希望があふれる未来を創ろう、中学生の力で～」の2巻を制作する。</p> <p>本DVDは、故郷復興プロジェクトの集会の場で全市内の中学生及び教員が視聴するので、中学生のこれまでの活躍や将来へ向けた創造ある活動を知るとともに、気持ちを一つにして今後自分たちが復興の主演として活躍しようという意識を高める効果が期待できる。また、英語バージョンも収録しているので、国際理解における学習資料や世界に向けた発信の情報源としての活用も可能である。</p>	

1 研究のテーマとねらい

(1) テーマ

東日本大震災からの創造ある復興に向けた新たな取組

(2) テーマ設定の意図

復興支援の形として生徒の心に響きやすい視聴覚資料(DVD)を用いることとし、震災当時の様子や復興の経緯について記憶の風化を防ぎ、今後の復興に向け中学生が進んで力を発揮してくれることを目指した。前年度に第1集を作ったのに続き、本年度は第2集「ともに前へ～支え合い助け合い未来を創ろう、中学生の力で～」及び第3集「ともに前へ～夢と希望があふれる未来を創ろう、中学生の力で～」の2巻を制作した。

(3) 対象及び利用形態

仙台市内中学校全生徒が平成28年3月11日の故郷復興プロジェクト集会の場において、視聴する。

2 研究の特色

(1) 制作を校長が担当

資料収集、編集等を仙台市中学校長会教育課題部会が担当し、学校経営上の視点からも有益な資料となるよう制作が進められた。単なる記録集ではなく、今後の復興教育につながる視聴覚資料を目指した。

(2) 3本の柱による構成

DVD第2集・3集ではそれぞれ「支援への感謝」「公助と語り部としての自覚」という異なるキーコンセプトを設定する一方で、編集の共通の柱として「震災の記憶」「中学生の様々な取組」「未来に向けて」の3項目を基本構成とした。また、大人から中学生への励ましのメッセージ映像も共通で録画した。

(3) 市内中学校が気持ちを一つにするための契機

震災から5年が経過し、記憶の風化や復興の衰退が懸念されている。それらを防ぎ、気持ちを一つにして今後の復興に取り組むという意図から、全市内の中学校の画像を漏れなく取り上げ、市内全中学校が指定した日時に一斉に視聴するというスタイルをとった。

(4) 宮城教育大学教育復興支援センターの教育的資源を活用

学校現場への様々な支援を行っている宮城教育大学教育復興支援センターを共同制作者として、有効な復興支援という視点、教育学的な視点、現職教員研修の視点、製作費援助等で様々な協力や助言を受け、価値のある視聴覚教材を製作することができた。

(5) 関係機関等への資料提供

仙台市内中学校への配付はもちろんのこと、県内中学校・私立中学校にも資料提供を行った。併せて、仙台市立中学校に入学予定である全ての仙台市立小学校にも資料提供を行った。さらに、関係する教育行政機関及び全日本中学校長会、大都市中学校長会、図書館等にも資料提供を行っている。

(6) 英語バージョンの収録

国際理解における学習資料や世界に向けた震災復興発信の情報源としての活用も可能なように、DVDには英語バージョンによる録画も収めている。

3 活動時期及び内容

4~5月 編集方針に関して、2巻を制作することからそれぞれの特色をどのようにするかを検討。

共通の3項目として「震災の記憶」「中学生の様々な取組」「未来に向けて」を確認。

6~7月 共同制作者の宮城教育大学教育復興支援センターとの打合せ

予算の確認ができ、3部構成の内容を検討する。

6月 DVD資料提供依頼、各グループでの編集作業...3部構成の内容確認、資料未収集学校の確認と資料提供の依頼をする。業者との打合せ。

8~10月 各グループでの編集作業(プロットの作成と写真・映像等の選択)

11月 試写版の視聴と改善案の検討 資料掲載の確認作業

12月 試写会 中学校長例会での試写会実施とアンケート記入・集計

DVD校正 試写会アンケート結果の検討と内容の再検討

1月 DVD最終校正と業者へのプレス発注 「利用の手引き」の作成

2月 DVD納品と配付及び送付作業

3月 3.11の故郷復興プロジェクト集会において全市内中学校一斉視聴

4 成果と課題

本報告書作成時点では生徒の視聴はまだ行われていないが、昨年度の第1集の視聴後のアンケートでは、生徒も職員も食い入るように画面を見つめ、今後の復興の決意を新たにできたという感想が多数あった。同様の成果が見られるものと期待している。課題は、本DVD視聴で高まった生徒のモチベーションをいかに行動に結び付けるかという点で、各校がどのようなアクションを起こすかが不透明だという点である。